

第1巻 島／裁判／夜と昼の鎖 第四回配本（二〇一五年九月） 解説Ⅱ春日武彦（精神科医）

人間存在にとって〈状況〉とはいかなるものなのか？ 架空の島Ⅱケンリ島を舞台に繰り広げられる抗争を描きSFを彷彿とさせる初長篇の他、寓話的筆致によって社会と個人の関係に鋭く迫る、初期の野心作・異色作。

第2巻 墓碑銘／女流／大学生諸君！ 第五回配本（二〇一五年十月） 解説Ⅱ石原千秋（日本文学研究）

極限状況における混血の兵士の揺れるアイデンティティを追い、人種と階級、生と性を問う『墓碑銘』、年上の女への憧れを瑞々しく描く自伝的な青春小説『女流』、そして幻の娯楽小説『大学生諸君！』――著者の成長と挑戦を標す作品群。

第3巻 抱擁家族／美濃 第六回配本（二〇一五年十一月） 解説Ⅱ小池昌代（詩人・作家）

新居の建設、妻の情事と死、後妻との結婚――執拗なまでに家庭を維持しようとして自己喪失の危機に陥る男の悲喜劇を綴る代表作『抱擁家族』、故郷にまつわる歴史や風土を織りこみながら未聞の小説世界を拓く『美濃』を収録。

第4巻 別れる理由Ⅰ 第一回配本（二〇一五年六月） 解説Ⅱ千石英世（文芸評論家）

第5巻 別れる理由Ⅱ 第二回配本（二〇一五年七月） 解説Ⅱ佐々木敦（批評家）

第6巻 別れる理由Ⅲ 第三回配本（二〇一五年八月） 解説Ⅱ千野帽子（文筆家）

連載期間十二年半、全四〇〇〇枚。夫婦・親子・男女の愛の錯綜と混沌を凄絶なまでに描き尽くし、旧来の小説の方法を悉く破砕する伝説的問題作、著者随一の超大作にして日本文学史に異彩を放ち続ける現代小説の極北。

第7巻 菅野満子の手紙 第七回配本（二〇一五年十二月） 解説Ⅱ近藤耕人（作家・批評家）

兄の身に起こった恋愛事件をモデルにした自作『女流』をめぐる手紙や対話、さらには実在の人物までをも交錯させながら、作品世界は時間と空間のはざまを揺動し、異様な自己増殖を繰り返す。小説の限界に挑む小島文学の新たな展開。

第8巻 寓話 第八回配本（二〇一六年一月） 解説Ⅱ保坂和志（作家）

ある日、かつて書いた長篇『墓碑銘』の主人公から作者のもとへ電話がかかってきた。創作であつたはずの人物から届く手紙に記された暗号を解説し続ける作者……。〈書くこと／書かれること〉を根本から問い直す。

第9巻 静温な日々／うるわしき日々 第九回配本（二〇一六年二月） 解説Ⅱ中村邦生（作家）

アルコール中毒に苦しむ中年の息子、健忘症を発症した再婚の妻。記憶を失いゆく彼らを前に、老作家は何を思い、何を願うのか。混沌を極める現代社会における家族と老いの問題を軽やかに描き、生の淵源を照らし出す。

第10巻 各務原・名古屋・国立／残光 第十回配本（二〇一六年三月） 解説Ⅱ平井杏子（イギリス文学研究）

「アイユさん、ノブさんが来たんだよ。コジマ・ノブさんですよ」作家とその家族が生きている現実、過去の小説、不確かな記憶、そして忘却……。すべてを取りこみながら創作を続けた著者が最晩年に見出した、究極の愛のかたち。

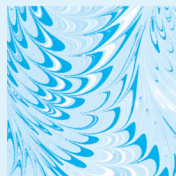
各巻解説Ⅱ柿合浩一

◆小島信夫短篇集成「価格税別」

- ①小銃／馬 解説Ⅱ千石英世 八〇〇〇円
- ②アメリカン・スクール／無限後退 解説Ⅱ芳川泰久 八〇〇〇円
- ③愛の完結／異郷の道化師 解説Ⅱ堀江敏幸 八〇〇〇円
- ④夫のいない部屋／弱い結婚 解説Ⅱ平田俊子 八〇〇〇円
- ⑤眼／階段のあがりはな 解説Ⅱいとうせいこう 六〇〇〇円
- ⑥ハッピーネス／女たち 解説Ⅱ中村邦生 七〇〇〇円
- ⑦月光／平安 解説Ⅱ保坂和志 七〇〇〇円
- ⑧暮坂／こよなく愛した 解説Ⅱ千野帽子 八〇〇〇円

◆小島信夫批評集成「価格税別」

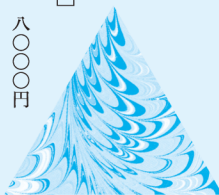
- ①現代文学の進退 解説Ⅱ中村邦生 八〇〇〇円
- ②変幻自在の人間 解説Ⅱ都甲幸治 一〇〇〇〇円
- ③私の作家評伝（全） 解説Ⅱ千石英世 七〇〇〇円
- ④私の作家遍歴Ⅰ 解説Ⅱ保坂和志 六〇〇〇円
- ⑤私の作家遍歴Ⅱ 解説Ⅱ宇野邦一 六〇〇〇円
- ⑥私の作家遍歴Ⅲ 解説Ⅱ阿部公彦 六〇〇〇円
- ⑦そんなに沢山のトランクを 解説Ⅱ堀江敏幸 九〇〇〇円
- ⑧漱石を読む 解説Ⅱ千野帽子 八〇〇〇円



◆小島信夫の本「価格税別」

- 小説の楽しみ 一五〇〇円
- 書簡文学論 一八〇〇円
- 演劇の一場面 二〇〇〇円

- \* 未完の小島信夫 中村邦生・千石英世 二五〇〇円
- 小島信夫の読んだ本 小島信夫文庫蔵書目録
- 昭和女子大学図書館編 五〇〇〇円
- 小島信夫の書き込み本を読む 小島信夫文庫関係資料目録
- 昭和女子大学図書館編 五〇〇〇円
- 水声通信② 小島信夫を再読する 一〇〇〇円



◆全国の書店にてご予約受付中!◆

- 第1回配本 ④別れる理由Ⅰ
- 第2回配本 ⑤別れる理由Ⅱ
- 第3回配本 ⑥別れる理由Ⅲ
- 第4回配本 ①島／裁判／夜と昼の鎖 予頁600頁／予価8000円＋税

郵便はがき  
1 1 2 - 8 7 9 0  
0 8 3

料金受取人払郵便

小石川局承認  
5068

差出有効期間  
平成27年11月  
30日まで  
(切手不要)

東京都文京区小石川 2-10-1

水声社

《小島信夫長篇集成》全巻予約係 行

